

令和3年度第2回光市総合教育会議 会議録

1 開催日時

令和4年2月3日（木）午後1時30分～午後2時20分

2 開催場所

光市役所本庁3階第5会議室（Web会議）

3 出席者

(1) 構成員

光市長 市川 熙

光市教育委員会 教育長 伊藤 幸子

〃 教育委員 河村 博明

〃 教育委員 寺崎 益朗

〃 教育委員 平岡 いづみ

〃 教育委員 武田 伸治

(2) 関係者

光市教育委員会 教育部長 芳岡 統

4 傍聴者

なし

5 次第

開 会

(1) 市長あいさつ

(2) 議 事

第2次光市教育大綱（案）について

閉 会

6 議事録（要旨）

開 会

(1) 市長あいさつ

本日はWeb会議による開催とさせていただきましたが、お忙しいなか、光市総合教育会議にご参加いただきありがとうございます。

皆様方におかれましては、平素より教育行政の推進をはじめ、本市の行政運営に関しまし

て格別のご理解とご協力を賜り、この場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

それでは、会議の開催に当たりまして、ひと言ごあいさつを申し上げます。

平成27年度から開催しております光市総合教育会議につきましては、本市教育の在り方や進むべき方向性について、教育委員の皆様とともに、さまざまな視点から協議を重ねているところであります。

昨年1月の総合教育会議において、令和4年度からの5年間を対象とした第2次光市教育大綱の基本的な方向性について、また、8月には、第2次光市教育大綱（案）についてご協議いただいております。本日は、第2次光市教育大綱（案）について皆様と協議する最後の機会ですので、これまでの協議やパブリックコメントの結果を踏まえ、改めてご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。

さて、新型コロナウイルス感染症の流行が始まってから既に2年が経過しようとしています。

昨年春以来、全国的にもワクチン接種が急速に進んだこともあり、一旦は収束の兆しが見えてきたところがございますが、山口県内でも感染が再拡大したことに伴い、県内すべての市町が「まん延防止等重点措置」の対象となり、教育分野においても、学校行事をはじめ、文化・芸術活動や体育活動など、感染予防対策を講じての活動実施や、活動自体の自粛や縮小などの状況が継続している現状でございます。

こうした状況を踏まえ、私は、市職員に対し、年始の公務始め式にあたり、今の私たちにとって「ポジティブ」と「アクション」が必要であると訓示しました。

「ポジティブ」については、無いものより、有るものやプラスの可能性のあるものに注目してそれを引き出す、あるもの探し、また、「アクション」については、パンデミックの状況にあっては、私たちの、より積極的な「行動」が必要であるということでございます。

これを、何らかの制限がある状況下にあっても可能なことや出来ることを探し、これらを実行することと捉えますと、ちょうど1年前のこの会議で教育長さんからご紹介のあった、修学旅行の代替行事を地域の皆様方とともに考えて実行できたというエピソードが思い出され、これが、第2次光市教育大綱（案）で基本理念として掲げる「連携と協働で育む 光の教育」の成果であるとともに、ちょうど「ポジティブ」と「アクション」を具現化した姿とも言えるのではないかと思います。

皆様と協議を重ねてまいりました第2次光市教育大綱（案）にも、この教育理念は受け継がれておりますので、対象期間である今後5年間も、今日のような困難な状況にありながらも、教育の役割を果たすための指針となり得ると実感しているところであります。

最後になりましたが、教育委員の皆様と協議してまいりましたこの第2次光市教育大綱が、光市が理想とする教育の指針として誇れるものと大いに期待しまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

(2) 議 事

第2次光市教育大綱(案)について

ア 第2次光市教育大綱(案)について

説明者：伊藤 幸子(教育長)

イ タブレット端末を活用した学習活動及び小中一貫教育の取組について(室積学園)

内 容：映像視聴、室積小学校6年生児童及び担任との質疑応答

【質疑・意見等】

(構成員)

子どもたちが地域の方と関わり、地域を巻き込んで、地域を元気にしていこうとする姿を感じています。これが、光市が進めてきたコミスクの成果の一つであり、目指すところの一つではないでしょうか。地域を作るのは大人だけでなく、子どもたちも参加して地域を盛り上げる存在になっていると思います。

(構成員)

文言の整理も丁寧に細かいところまで行われ、教育大綱(案)を練り上げてこられたように思います。特に、新型コロナウイルス感染症の流行が長引いていますので、「ポストコロナ期における」を削除されたことも納得できます。それから、学力状況調査における自己肯定感が全国平均より高いこと、小学校6年生よりも中学校3年生が更に高いことが印象に残っています。これは、子どもたちが生きるうえでの底力でありとても大切なことですが、コミュニティ・スクールの活動や日頃の教育の賜物だと思いますので、引き続きよろしく願います。

(構成員)

大綱策定後のことですが、2点ほど。

まず、コミュニティ・スクールについてですが、次世代型コミュニティ・スクールの取組により高等学校との連携も徐々に広がっていると感じています。

来年度から徳山大学が周南公立大学となり新たなスタートを切りますが、入学する生徒にも光市のコミュニティ・スクールで育った子どもたちがいると思われます。新たにできる大学や、他の大学に進学している大学生とも連携できれば、コミュニティ・スクールはまだまだ広がるのではないかと思います。是非とも、そういったパイプラインをつなげることができればと思います。市長さんのご挨拶にポジティブとアクションのことがありましたが、「あるもの」が大学、それを積極的に光市がアクションを起こしていくことができれば、もっと広がっていくと思います。

次に、教育大綱(案)のことについて、本当に素晴らしい大綱(案)ができたと思います。

私は教育委員になるまで大綱のことを知りませんでした。子どもたちが夢と希望に向かってたくましく生きていくところを、特に保護者に知っていただいて、地域の人と一緒に取り組めるように、この大綱を発信して共有し、より良いものになるとよいと思っています。

(構成員)

教育大綱(案)ですが、大変素晴らしいものになっていると思います。光市が積み上げてきた成果を更に進めていく考え方や方向性がはっきり伝わってきます。

コミュニティ・スクールについては、学校現場の先生方の力、家庭の力、地域の力で一体となって進めてきましたが、それぞれの力、学力、指導力、地域力となって着実な成果をあげていると思っています。

光市のコミュニティ・スクールは県内外から注目されていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大前に、私達が県外の自治体を視察した際にも、お褒めの言葉をいただいたことを覚えています。

幼稚園・保育園から高等学校まで、18歳までを見通した連携と協働で進める光市の教育のための基本的な考え方が示された素晴らしい大綱(案)と思います。

光市の子どもたちが光市を愛し、光市の将来の担い手となっていけるよう、また、光市を支え発展していけるよう願っていると同時に、光市に住んで、光市の教育を受けたいという人が増えたらよいと思います。

(構成員)

今後の取組の発展に向けたエールをいただきました。

この度の大綱(案)はコロナ禍で作りに上げてきたものという意味において、いろいろな思いを持っております。このコロナ禍で、学校だけでなく家庭、地域、職場でも大きな影響を受けていますが、私達は、人と人とのつながりや地域のきずなの大切さを改めて実感したところでもありますし、学校という場が、子どもたちの学びの保障にとどまらず、全人的な発達、成長の保障や、安全・安心につながることでできる居場所、セーフティネットといった福祉的な役割を担っていることも再確認しました。

そういったことを全て含めて、本市の教育理念の、連携と協働で育む光の教育の持つ意味を改めて考え、そして共有していくことができればと思っていますし、これは全国的な傾向ではありますが、子どもたちの体力の低下であったり、将来の夢や目標を持ちづらくなったりなどの状況もあります。こうした中で、夢と希望にあふれ未来に輝く「光っ子」の育成、これを目標に掲げた意味というのは、改めてこれは重要な意味を持つと感じております。新型コロナウイルス感染症の収束がなかなか見通せない中ではありますが、私たち自身が想像力と柔軟性、しなやかさを持って、変化に対応しながら、光っ子の育成に努めてまいりたいと

感じております。

それから、最後に1点ほど、大綱（案）の文言を整理してきましたが、改めて確認して少し気になっておりますのが、4ページの「光っ子のすがた」の一つ目の説明文に「相互に尊重し合い」を挿入した結果、少し長くなっています。よく読み直してみますと、例えば、出だしの「変化が激しく予測困難な未来社会を自立的に生きるために」は、3ページの1段落目に「社会の変化が激しく先行き不透明な予測困難な時代」とありますので、同じような文言の繰り返しは避けて、「予測困難な未来社会を」から始めてもよいのではないかと、「変化の激しい」という部分は無くても通じるのではないかと考えています。このように、少し精査したいと考えていますので、今一度、この説明文の文言を整理させていただければと思います。

（構成員）

先程、周南公立大学のことがありましたが、周南公立大学と光市は、まずは地域の課題を解決するための連携を行う予定です。

先程ご意見のありました、コミュニティ・スクールを広げていくことを頭に入れながら、この取組を進めていきたいと思えます。

また、子どもたちも地域を盛り上げる一員だというご意見もありましたが、私も全くそのとおりの思えます。それから、自己肯定感が高いということは、生きる力なのだというご意見もいただきました。さらに、既に光市には道ができている、まっすぐな道ができているからどんどん進んでいこうというご意見もいただきました。

このようなご意見をいただいたことが、この総合教育会議の成果として、今後の取組につなげていきたいと思えます。

（構成員）

貴重なご意見、ご感想をいただき、大変ありがとうございました。

それでは、先程ご説明いただきました第2次光市教育大綱（案）について、若干、文言の調整が必要であるとのことですので、その調整は教育長に一任することとし、本案を調整したものを最終案とすることとしてよろしいでしょうか。

————— 他の構成員 了 —————

それでは、本案を調整したものを最終案といたします。

大綱の策定に際しましては、熱心にご議論いただき、また、皆様方の様々なご努力、ご尽力に感謝を申し上げます。

本日の議事は、すべて終わりましたので、令和3年度第2回総合教育会議を終了します。

午後2時20分終了